

兵庫県高校強化招待大会

三原と飾磨で決勝戦

第7回、平成元年度兵庫県高校強化大会は、4月4、5、6日と磯上球技場ほかで、岐阜工、静岡工、伝習館などの他府県校12チームに、兵庫県新人戦優勝の滝川第二をはじめ、準優勝の小野、上位に入った加古川東、宝塚西、三原、飾磨、御影工、赤塚山の8チームが参加して開催された。

5チームづつ4ブロックに分かれたグループリーグ戦の結果、三原、飾磨が1位トーナメントに進出、いずれもPK戦で伝習館と、岐阜工を破って決勝戦に臨んだ。

決勝は三原が13本、飾磨が9本のシュートを打つ攻め合いとなったが、前半12分三原のミッドフィルダー斎藤がドリブルからあげたボールを8番奥津がヘディングで決めた1点がものをいって勝ち、第1位となった。

▷決勝戦(4月6日、磯上球技場)

三原 1 $\left(\begin{smallmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{smallmatrix} \right)$ 0 飾磨

第7回 兵庫県高校強化大会 成績<グループリーグ>

A	飾磨	滝二	星陵	宮崎	新宮	勝分	敗	勝点	順位
飾磨		2-1	1-0	2-1	1-0	4	0	0	8
滝川第二	1-2		2-2	3-1	5-0	2	1	1	5
金沢星陵	0-1	2-2		1-0	3-1	2	1	1	5
宮崎中央	1-2	1-3	0-1		4-2	1	0	3	2
新宮商	0-1	0-5	1-3	2-4		0	0	4	0

B	岐阜工	静岡工	御影工	宝西	海南	勝分	敗	勝点	順位
岐阜工		2-0	0-0	0-0	3-1	3	1	0	7
静岡工	0-2		4-1	1-1	6-0	2	1	1	5
御影工	0-1	1-4		3-0	4-1	2	0	2	4
宝塚西	0-0	1-1	0-3		1-0	1	2	1	4
海	南	1-3	0-6	1-4	0-1	0	0	4	0

C	伝習館	四工	大商	小野	赤塚	勝分	敗	勝点	順位
伝習館		0-0	1-0	2-0	4-0	3	1	0	7
四日市工	0-0		0-1	3-0	2-1	2	1	1	5
大商	0-1	1-0		0-2	5-0	2	0	2	4
小野	0-2	0-3	2-0		1-0	2	0	2	4
赤塚山	0-4	1-2	0-5	0-1		0	0	4	0

D	三原	京都	生駒	加東	草東	勝分	敗	勝点	順位
三原		1-1	0-0	2-0	1-0	2	2	0	6
京都選抜	1-1		1-2	3-0	4-0	2	1	1	5
生駒	0-0	2-1		0-0	0-0	1	3	0	5
加古川東	0-2	0-3	0-0		2-0	1	1	2	3
草津東	0-1	0-4	0-0	0-2		0	1	3	2

<1位トーナメント>	<2位トーナメント>
飾磨 $\left(\begin{smallmatrix} 0 & -1 \\ 0 & -0 \end{smallmatrix} \right)$ 0 三原	滝川第二 $\left(\begin{smallmatrix} 2 & -1 \\ 1 & -0 \end{smallmatrix} \right)$ 1 静岡工

<3位トーナメント>	<4位トーナメント>	<5位トーナメント>
星御大生新宝小加宮海赤草 陵工商駒商西野東央南山津		

が、決定力に欠け0対2で敗れてしまった。疲れがみえ、集中力の薄れる場面があったのが残念であった。

今大会参加の各県、各市の選抜チームは、かなりの時間をかけて強化してきたのに対し神戸市中2選抜は11月後半にチームを結成、短時間の練習で十分なチーム作りが出来ず、特に連携プレーが出来ていなかったのが結果不振の原因と考える。各選手が清水での厳しい体験を頭に入れて練習して欲しい。

静岡オールドヨタ杯争奪第7回全国中学生選抜清水招待サッカー大会結果(関係分)▷予選リーグ 神戸市選抜 0-6 千葉県神戸 0-6、山形神戸 2-2 清水六中神戸 0-3 清水FC(3年生)▷4位トーナメント 神戸 0-2 刈谷

神戸市中2選抜 静岡遠征メンバー
引率 川並浩司(塩屋中) 柴田啓二(垂水東中) 梶 隆保(滝川中) 岡本真一(玉津中)
選手 角野 剛(西代) 朝 晋(太田) 上田 征二 山内 優 大給亮一 田尾健次郎(垂水東) 佐伯孝二 岸部克俊(塩屋) 中山健太郎 曾賀博行(桜が丘) 西野秀和(広陵) 三原慎吾 宮本創二 長沢史郎(鷹匠) 平野貴幸(玉津) 大上高史(高倉) 橋本博喜(星和台) 北川惣康(歌敷山) 細田敦喜(布引) 小西康夫(竜が台) 沢井健二郎(本庄)

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュショップ、トアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
J R 元町駅南側東へ100m

サッカーショップ PKF

中央区下山手通3丁目3-10 ☎078(332)5519

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

20年間で 超マンモスリーグに成長

神戸市少年サッカーリーグ始まる

20周年を迎える平成元年度神戸市少年リーグは4月から東、中、北、南、西の5地区で前期リーグが開幕し、9月に及び熱戦の火ぶたが切って落とされた。

例年盛大に行われていた開会式は今年も4月23日に予定されたが、あいにくの雨で中止された。

今年度から新たに「中央クラブ」が東地区に、「ヨウケンクラブ」、「塩屋北クラブ」が西地区に加入したが、鈴蘭台など三団が参加しないため昨年と同じく45団となった。昨年度参加チームは238チーム、のべ約1000試合を消化したが、今年も同じぐらいの数になると見られる。

4月から7月までは東、中、北、西、南の5つの地区に分かれて前期リーグを行い、その成績によって9月からの後期リーグで、優勝を狙える上位リーグに進出できるかが決まる。学年、レベル、性別で1部(男子6年生以下、上級)、2部(男子6年生以下)、3部(男子4年生以下)、4部(女子6年生以下)、5部(女子4年生以下)の5つの部に分かれて試合を行う。

注目の1部では、2年連続優勝の神戸FCボーイズが、今年も優勝しリーグ最多優勝記録(現在神戸FCと東灘が6回)を作るか。ダイエーカップの高倉台が3年ぶりの優勝を果たすかなど楽しみである。一方、女子の部が年々チーム数が減少の傾向があり寂しい。日本女子リーグも始まり、地元神戸FCレディースも参加するので、女子サッカーをもう一度盛んにさせたい。

市少年指導者講習会 中級コース

熱心に指導の勉強

神戸市少年サッカー指導者講習会中級コースは2月5日から26日まで三木記念会館ほかで行われ18人が受講、全員が修了した。少年の指導者は社会人の方が多く、初級コース、中級コースとも熱心に受講されている。中級コースは初級コースを修了した人や、少年の指導を経験した方を対象に、やや専門的な内容となっている。勤め帰りに、講義や実技をうけ忙しい講習だったが、受講生全員が修了証を手にした。受講生は次のとおり。

阿部(西須磨) 飯島、上野、河村、西田(夢野) 金近、森、高津(多井畑) 北田(神戸FC) 金(KJSC) 嶋本(ひよ台) 田島、吉川(桜の宮) 富沢(垂水SS東舞子) 日内地(神戸SS) 松村(神の谷) 真部(木津) 提(神陵台) 敬称略

神戸市社会人運営会議予定 次回 6月15日(木)

18時30分から神戸市立勤労会館4階会議室。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ-ハイム



1989年 4月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料 1部50円

ダイエーカップ 国際少年サッカー'89

“春の国際少年サッカー大会”ダイエーカップ国際少年サッカー'89(日本サッカー協会主催、兵庫県サッカー協会主管、ダイエーグループ特別協賛)は3月28日から4月2日まで全国47都道府県代表と、地元神戸市から1チームに外国招待チーム6チームを加えた54チームが参加し、神戸中央球技場ほかで行われた。

少年の全国大会は、これまで夏に行われていた「全日本少年大会」だけだったが、今年から神戸で外国チームを含めた全国大会が開かれることになり、兵庫県サッカー協会、神戸市サッカー協会の協力のもと、盛大に無事終えることができた。

9チームごとの一次リーグののち、上位2チームによる決勝トーナメントで行われ、連日1日2試合の厳しい日程だったが、少年チームの雄清水FCがブラジルリオデジャネイロ、城陽(京都)を破り決勝に進出、高島平(東京)を破り初優勝した。神戸市代表の高倉台SC、兵庫代表の誉田SC、江井ヶ島SCは惜しくも一次リーグで敗退した。

<決勝>
清水FC $2 \left(\begin{smallmatrix} 2 & -1 \\ 0 & -0 \end{smallmatrix} \right) 1$ 高島平SC (静岡) (東京)
サッカー王国静岡が春の全国大会を制覇。決勝は、過去全日本少年大会7回優勝経験誇る清水FCと少年チーム数は全国一を誇る東京代表の高島平SCとの対戦となった。両者5日間、10試合にわたる連戦のあと、しかも決勝戦の数時間前に準決勝を戦ったとあって、疲労が心配されたが、キックオフから激しい試合となった。

前半から清水が押しぎみに試合を進め、はやくも5分に山口からのスルーパスを成田が中へ折り返し、中込が決めた先制した。調子に乗る清水は両サイドから良く攻め、チャンスを作り追加点を狙う。14分高島平のDF押田がこぼれ球をロングシュート、惜しくもバーに当たり同点のチャンスを逃したあと、16分、今度は清水FW萩野のパスを受けた中込がすばらしいドリブルで中央から3人を抜きゴールを決めた。その後、高島平もFKからのクリアミス拾いFW若林が決めた、1点差に詰寄り、後半にかけたが、清水のDFを破ることができず涙をのんだ。



▲決勝戦から高島平ゴール前で激しくせり合う

大会盛り上げた外国チーム



▲優勝した清水FCはサッカーどころ清水市の優秀な子供を集めた好チーム。



▲準優勝の高島平はマンモス都市東京のチーム。都会っ子らしいセンスが光った。



▲決勝前半5分清水FC成田がセンターリング、この後清水の先制点が生まれた。

神戸で少年の全国大会、それに外国招待チームを加えた国際大会を行う大規模な計画が昨年持ちあがり関係者を驚かせたが、今回「ダイエーカップ国際少年サッカー'89」の名で行われ、無事終えることが出来た。

大会要項が昨年12月に発表され、この3か月間は、あわただしく準備が進められたが、兵庫県協会、神戸市協会の協力により6日間の大会が運営された。各都道府県代表は、各県理事長、技術委員長、少年委員長の推薦により決定された。兵庫県は、竜野市の誉田が推薦され、地元神戸市は1月に行われた第5回神戸兵庫ライオンズクラブ杯争奪少年大会春季新人戦で推薦チームを選考することとし、優勝した高倉台が推薦された。また、埼玉県が終業式の日が大会にかけ辞退したため、兵庫県から第二代表が出場出来ることとなり、明石の江井が島イレブンが出場した。

神戸市の友好姉妹都市から6チームの外国招待チームが参加したことは単に少年の全国大会ではなく、世界の国の少年がどのようなレベルにあるのか、また、どんなサッカーをするのかを知る上で大いに意義ある試みといえた。

サッカー王国ブラジルからは、リオデジャネイロのパエスコダガマが参加、準々決勝で清水に敗れたが、さすがに「ブラジル」と思わせるテクニックを披露した。ヨーロッパからはフランスのオリンピック・ド・マルセイユ。決勝トーナメント1回戦でブラジルに敗れた

が、この大会屈指の好ゲームを見せてくれた。ソビエトからはリガ、オーストラリアからブリスベーンが参加。両チームとも残念ながら予選で敗れたが、個性的なプレーで楽しませた。中国からは天津市選抜が参加した。中国の少年サッカーのレベルは高く、今回は優勝候補だったが準々決勝で高島平に敗れた。

日本チームがベスト4を占め関係者を喜ばせたが、勝負すべき大人の時代で外国チームに歯が立たない現状を考えると気になるころだ。スピードとパワーに頼りすぎる日本チームに対して、テクニックや駆け引きで勝負する外国チームに違いが見られた。

大会前半は雨に悩まされた。ダイエーグループがユニホームの洗濯サービスを行ったが、雨と泥の汚れて洗濯機が故障してしまい、次の日の試合に間に合わないハプニングも見られた。しかし、後半には好天に恵まれ、特に決勝、準決勝は良いコンディションで待った。決勝戦では多くの観衆を集め、神戸中央球技場は少年の活気であふれた。スタンドでは外国チームと日本チームがコインを交換したり、帽子を取かえたりと、外交官ぶりを発揮し仲よく交流する光景も見られた。

第1回大会ということで慣れないことも多く苦勞した大会だったかもしれない。しかし、全国各地や、世界から来た子供達を心から歓迎し、楽しい思い出を作った帰っていったことだろう。

市社会人アーセナルFCに栄冠

昭和63年度神戸市社会人リーグ選手権大会は1月29日から神戸中央サブ、川重西明石、磯上の各グラウンドで45チームのトーナメントによって行われた。

優勝候補の筆頭にあげられていた神戸FC・Aは準決勝で神戸市役所Aと対戦し、点の取り合いのすえ2対3で敗れた。

決勝戦は3月26日、神戸中央メインで組み合わせに恵まれた感のあるアーセナルFCと神戸市役所Aの間で争われ、アーセナルFCが4対1で勝って、58年度、61年度に続いて3回目の優勝を飾った。

1回戦、2回戦から実力上位と見られたチームが順調に勝ち上がり、また、神戸FC・A対神戸FC・Bという組み合わせもあり、おもしろい内容であった。

又、兵庫朝鮮の失格によって勝ち上がったと思われる神戸オフサイドがベスト4に入ったが、その実力は、すばらしい体格のゴールキーパーの活躍と共に十分に評価されるチームであった。

決勝 (3月26日、神戸中央)
アーセナルFC 5 - 0 神戸市役所A
三位戦
神戸FC(A) 1-1 7PK6 神戸オフサイド

優勝 アーセナルFC
準優勝 神戸市役所A
三位 神戸FC(A)
四位 神戸オフサイド

兵庫県社会人都市対抗大会 尼崎市選抜が優勝

昭和63年度兵庫県都市対抗大会は3月5日、12日と竜野市祇園公園、中川原公園の各グラウンドで、1回戦、2回戦、準決勝を行い、どの試合も接戦となったが、結局、神戸と尼崎が勝ち進んだ。

決勝と三位決定戦は、3月19日、神戸中央メインで開催された。

神戸市代表は、今年も県リーグ勢が参加せず神戸市リーグのメンバーで戦った。双和運輸の木村、神戸工専の山本が若い選手の活躍もあったが、残念ながら準優勝に終わってしまった。

2回戦では北播に快勝したものの、準決勝ではハーフバック西川、ディフェンス大久保が抜け、12人で戦った。試合開始から激しい当たりの応酬となり、非常に荒っぽい試合になった。後半かなり攻められたが、中盤からの激しいチェックでしのぎ、PK戦ではGK久松の好守もあって、3対2で東播をくだして、なんとか勝ち上がった。

決勝の相手は県リーグ勢中心で固めた尼崎との対戦となり、終始相手に主導権を奪われて、神戸のリズムを出せないまま、完敗に終わった。

今回は急造チームでなく、早くから準備し優勝を遂げたいと思う。

兵庫県社会人都市対抗大会結果

東播	2	0	0
石宮	0	0	0
西北	1	1	2
播磨	3	1	1
神戸	0	0	0
丹波	1	1	1
有馬	6	1	3
北摂	0	0	0
淡路	0	0	0
尼崎	6	2	3
姫路	1	1	1

昭和63年度神戸市社会人リーグカップ結果

長田クラブ	3	0	0
川鉄建材	1	0	0
甲山FC	0	0	0
FCキッズ	0	0	0
マックエルフ	5	0	0
スポーツマン	0	0	0
神戸FC(C)	0	0	0
アールセナルFC	0	0	0
太陽神戸銀行	0	0	0
神戸税関	0	0	0
ビートルズB	1	0	0
富士通テン	0	0	0
FCシーマ	0	0	0
御影Jr.	0	0	0
御影I	0	0	0
オフサイド	0	0	0
神高クラブ	0	0	0
住友ゴム	1	0	0
三菱電機	0	0	0
兵庫朝鮮	0	0	0
スワローFC	0	0	0
赤塚山FC	0	0	0
鐘化中研	0	0	0
神鋼本社	0	0	0

【アーセナルFC】

清政	孝幸	森	昭広
後藤	公嗣	宮部	謙司
吉田	富男	林	浩平
大久保	敏浩	山崎	伸二
栗田	清正	田中	敏雄
納利	昌之	今岡	利宏
黒田	典典	和田	裕
角田	国義	成田	正道
岩本	勝也	孝橋	譲治
田中	三雄	柚田	良隆
高橋	祐司	岡本	茂之

【神戸市役所A】

太田	義明	池田	勝彦
灘	政弘	松本	猛
梶川	龍彦	福本	憲一
天王寺	谷慶吾	大野	真一
堀形	洋二	小嶋	秀行
阿河	雅也	牧	哲生
児玉	浩男	西村	寛
成田	洋一	平沢	学
岸本	功	浜口	年夫
土井	一優	谷口	良二
早川	信行	土井	隆

平成元年度兵庫県リーグ前期対戦表

節	月/日	場 所	時間	対戦(佐側がホームゲーム)
1	4/2	西 淡 町 民 G	13:00	西 淡 F C V S 津 田 S C
		神戸総合球技場	13:00	三 菱 神 戸 V S F C 加 古 川
	6/4	県立尼崎北高校	15:00	神戸FC1970 V S 神崎高級工機
		日岡陸上競技場	13:00	明倫クラブ V S 旭硝子高砂
2	4/9	＊	15:00	FC加古川 V S 西 淡 F C
		＊	12:15	神崎高級工機 V S 三 菱 神 戸
		＊	14:00	ヤンマー尼崎 V S 明倫クラブ
	4/16	神鋼加古川 G	13:00	旭硝子高砂 V S 三 菱 神 戸
3	6/4	＊	15:00	津 田 S C V S F C 加 古 川
		＊	13:00	神崎高級左機 V S 西 淡 F C
	＊	15:00	ヤンマー尼崎 V S 神戸FC1970	
	4/23	＊	13:00	三 菱 神 戸 V S 津 田 S C
4	4/16	＊	15:00	神戸FC1970 V S F C 加 古 川
		＊	14:00	ヤンマー尼崎 V S 旭硝子高砂
	6/4	＊	13:00	明倫クラブ V S 神崎高級工機
		＊	15:00	西 淡 F C V S 三 菱 神 戸
5	4/30	＊	13:00	F C 加 古 川 V S 明 倫 ク ラ ブ
		＊	15:00	津 田 S C V S 神 戸 F C 1970
	5/7	＊	13:00	神崎高級工機 V S ヤンマーニ崎
		＊	15:00	旭硝子高砂 V S 西 淡 F C
6	5/7	＊	13:00	三 菱 神 戸 V S ヤンマーニ崎
		＊	15:00	明倫クラブ V S 神戸FC1970
	6/11	＊	13:00	神崎高級工機 V S 津 田 S C
		＊	15:00	西 淡 F C V S 明 倫 ク ラ ブ
7	5/14	＊	13:00	神戸FC1970 V S 三 菱 神 戸
		＊	15:00	新日鉄夢前 V S ヤンマーニ崎
	6/11	＊	13:00	旭硝子高砂 V S F C 加 古 川
		＊	15:00	ヤンマーニ崎 V S 西 淡 F C
8	5/21	＊	13:00	神崎高級工機 V S F C 加 古 川
		＊	15:00	三 菱 神 戸 V S 明 倫 ク ラ ブ
	5/28	＊	13:00	津 田 S C V S 旭硝子高砂
		＊	13:00	西 淡 F C V S 神 戸 F C 1970
9	5/28	＊	13:00	旭硝子高砂 V S 神崎高級工機
		＊	15:00	F C 加 古 川 V S ヤンマーニ崎
	6/11	＊	13:00	津 田 S C V S 明 倫 ク ラ ブ
		＊	15:00	神崎高級工機 V S 三 菱 神 戸

神戸市社会人市民大会

平成元年度神戸市社会人市民大会は、4月2日神戸中央サブグラウンドでの兵庫朝鮮対朝銀兵庫の試合で開始された。兵庫朝鮮をはじめ神大同好会、神戸アーセナル、市役所Aがシードされている。決勝と3位決定戦は5月14日神戸中央球技場メインで行われる。

平成元年度 神戸市社会人市民大会組合せ

神大同好会	兵庫朝鮮
兵庫朝鮮	アックスボーイ
朝銀兵庫	三菱電機
鶴甲1丁目	アパッチFCB
ブルーサンダース	スワローFC
FCオルフェス	御影IOB
双和運輸	ビートルズB
FCシーマ	北斗FC
川鉄建材	神戸ファイヤー
Tクラブ	神高クラブ
神戸オフサイド	育英クラブ
富士通テン	タカラブネ
八代学院	長田クラブ
ビートルズA	神戸FC(D)
甲山FC	県職神戸
神戸FC(C)	太陽神戸銀行
MJアンファン	ストライパーズ
アパッチFCA	神鋼本社
鐘化中研	神戸FC(A)
御影クラブ	神戸FC(B)
関電神戸	かつおぶし
富士電機	マックエルフ
滝川クラブ	灘FC(A)
赤塚山FC	神戸スポーツマン
神戸アーセナル	神戸市役所A

平成元年度神戸市社会人リーグブロック分け

関西リーグ
セントラルスポーツクラブ神戸

兵庫県リーグ
三菱重工神戸
神戸FC 1970

神戸市リーグ

1部	2部A	2部B
神戸FC(A)	川重発本	神戸FC(B)
神戸市役所A	神戸オフサイド	神鋼本社
双和運輸	神高クラブ	神戸税関
アーセナルFC	スワローFC	神戸スポーツマン
神大同好会	住友ゴム	甲山FC
神戸工専	御影クラブ	兵庫県庁
兵庫朝鮮	KR&AC	三菱電機
ビートルズA	鶴甲1丁目	滝川クラブ
長田クラブ	育英クラブ	育英クラブ
関電神戸	神戸市水道局	神戸FC(C)

3部A	3部B	3部C
灘FC(A)	タカラブネ	六甲ヒルケル
神戸FC(D)	FCオルフェス	神戸市役所B
神戸ファイヤーFC	かつおぶし	ビートルズB
舞子台クラブ	シンエー	朝銀兵庫
川重神戸	灘FC(B)	アパッチFC(B)
N.T.T.神戸	葎合OB	マックエルフ
県職神戸	ガラクターズ	ブルーサンダース
三星ベルト	川重西神戸	アパッチFCA
N.K.クラブ	川鉄建材	三星堂
須磨グリーンフォックス	阪神EFC	富士電機
アックスボーイ	Tクラブ	白鶴

3部D	3部E	3部F
灘生協	赤塚山FC	富士通テン
神戸ドクターズ	MJアンファン	御影IOB
川西倉庫	FCなかよし	御影IOB
星陵クラブ	FCキッズ	八代学院
三菱FC	板宿FC	北須磨クラブ
ラ・リベルテ	ストライパーズ	鐘化中央研究所
F.C.バム	パッパ	I.B.F.C.
是則運輸	太陽神戸銀行	アックス
ロジエ	ナブコ	神戸北クラブ
テンハイ	北斗FC	FCシーマ

天に天国あり 地にフットボールあり

南アメリカ3カ月の旅 ⑥

<20>

ウルグアイからパラグアイへは、バスにした。国際列車があるらしいが、ほとんどだれも相手にしていない。快適な旅を約束してくれる、ヨーロッパの鉄道と同じ感覚で付き合おうとすると、面くらってしまう。便数が極端に少ないうえ、何時間も遅れて平気で発車する。長距離バスなら、たくさんの方が競合して時間也正確だ。サービスだって悪くない。

モンデビデオを後にして3時間、バスは地平線を知らない大平原の真っただ中に走った。走っても走っても、360度

まわりの景色は表情ひとつもなかった。「野生のエルザ」のサウンド「Born Free」が、車窓から流れ込む乾いた風とともに、心のヒゲをなでていく。時折、草原の中から放牧された牛の群れがこつ然と現れ、バスとのすれ違いざまに、馬の背にまたがった主人の日に焼けた笑顔が振り向いた。

翌朝、ゴッタンという軽いジョックで目が覚めると、バスは、小さなフェリーに乗り込もうとしていた。後継に続く5台の乗用車でデッキはいっぱいになった。フェリーというより、まさに

上野 勝幸

渡り船だ。銀幕を下ろしたようなさ。コール(豪雨)で、国境の川は視界がきかない。土手まで半分のみ込んだ濁流を1時間かけて渡り切ると、木造の頼りなさそうな桟橋には、銃を構えた兵士が突っ立っていた。

パラグアイは南アメリカ大陸のほぼ中央に位置する、亜熱帯性気候の内陸国。約250年の植民地時代が続いた後、1811年にスペインから独立。1864から70年にはブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ3国との戦争に敗れ、領土の半分と人口の6分の5を失った。

11月の初旬、雨上がりのアスンシオンは蒸し暑い。汗がぶあつと噴き出した。26時間の旅は終わった。バスを降り、深々と空気を吸った。新聞売りのハダシの少年が走り去った、路地裏から漂う油っぽいにおいは、なぜかアジアの風情を感じさせる。木々や土の色も、緑なら緑、赤茶なら赤茶と、ウジウジしていない。

パラグアイのフットボールはブラジル、アルゼンチン、ウルグアイの大国に一步後れをとっているが、国民の熱狂度ならい勝負をする。

1987年のリーグをトボールといえばロメロ、ロメロといえばパラグアイ(写真左)第2回ワールドユース大会の対韓国戦=1979年8月25日、(右)日本代表対NYコスモス戦=1982年11月7日、いずれも神戸中央球技場

ヨーロッパ	UEFA
アジア	AFC
アフリカ	CAF
オセアニア	OFC
北中米カリブ	CONCACAF
南アメリカ	CONMEBOL



パラグアイといえばロメロ、ロメロといえばパラグアイ(写真左)第2回ワールドユース大会の対韓国戦=1979年8月25日、(右)日本代表対NYコスモス戦=1982年11月7日、いずれも神戸中央球技場

パラグアイのフットボールはブラジル、アルゼンチン、ウルグアイの大国に一步後れをとっているが、国民の熱狂度ならい勝負をする。



パラグアイといえばロメロ、ロメロといえばパラグアイ(写真左)第2回ワールドユース大会の対韓国戦=1979年8月25日、(右)日本代表対NYコスモス戦=1982年11月7日、いずれも神戸中央球技場

モンブラン発。愛するサッカー人へ。



マーカムSFホワイト
●カラー/ブラック×ホワイト・ブルー・レッド・ケリー ●サイズ/20.0-27.0cm
標準小売価格 ¥5,000



コーチャーCTR-21
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/21.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,600



コーチャーCTR21-PS
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/22.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,200

モンブラン株式会社 本社 〒653 神戸市長田区神楽町4丁目7-16 TEL(078)641-8881 東京支店 〒111 東京都台東区浅草橋3丁目10-8 TEL(03)862-5891 福岡営業所 〒816 福岡市博多区那珂1丁目1-12 TEL(092)473-8881